

令和5年 第4回 原村議会定例会 一般質問通告一覧表

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	芳澤 清人	1 災害時の避難について	1 障がい者、高齢者等の情報通信の高度化への対応が困難な方(いわゆる情報弱者)に対しての避難方法など周知されていない。情報弱者に対し災害発生時の避難対策を確立するべきでは。	村長
			2 社会福祉協議会と各区で災害時住民支え合いマップを作成したが活用されていない。個別に避難対応マニュアルを作るべきと考えるが。	村長
			3 避難周知の為の村防災連絡会議が必要と考えるがどうか。	村長
			4 歩行困難な方に対しての避難用具として自主防災組織に避難用具けん引式車イスの配備又は配備の補助をしてはどうか。	村長
			5 区による避難訓練時に村の接点は何もない。役場職員の防災士の派遣などの対処があっても良いのでは。時にはアドバイスが必要な場合もあり区と村との接点が欲しいがどうか。	村長
			6 防災士取得補助により防災士の増加を試みているが、どのような計画を目指しているのか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	芳澤 清人		7 避難時の飲料水は重要な持ち出し物品であり1人1日3ℓとされている。水確保のために各区も飲料水を備蓄しているが絶対的に不足している。各防災組織に非常用浄水器の補助を行ってはどうか、また防災組織への補助は続けるべきと考える。特に活動支援補助など必要と考えるが。	村長
		2 総合型地域スポーツクラブについて	1 地域総合スポーツクラブ生涯スポーツ社会の実現として八ヶ岳総合スポーツクラブとして発足しているが実態がわからない。現在の実態はどのようになっているのか。住民に広くアピールしてクラブの存在やクラブへの加入を勧めることが必要ではないか。	村長
			2 地域総合スポーツクラブとしての役割で部活動移行の推進は重要と考えるが部活動地域移行のニーズに応える体制が整っているのか。	村長
			3 部活動に応える指導者をどう確保していくのか。	村長
			4 生徒には他市町クラブに在籍している生徒もいる。また逆もある可能性もある。市町の地域総合クラブとの連携により生徒を育てる必要があると考えるがどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	芳澤 清人		5 今後部活動の地域移行についてどのように進めていくのか教育長の考えは。	教育長
		3 障がい者の支援について	1 村の身体障がい者に対する自動車改造助成は身体障がい者が社会参加する目的の助成であるが家族の負担軽減の助成がない。家族は身体障がい者の生活介護をはじめ自動車による昇降は大変な負担となっている。家族が少しでも負担軽減になる為にも自動車改造設備の助成を考えたかどうか。	村長
			2 村単の福祉サービスは十分に活用されているか。村に障がい者福祉計画推進協議会があるが、定期的に改善、見直しなどを行ないニーズに合ったサービスが必要と考えるが。	村長
2	森山 岩光	1 令和6年度予算編成方針について	1 令和6年度予算編成に向けての基本方針として、臨時的経費を除く一般財源ベースで、令和5年度当初予算の範囲内(ゼロシーリング)での予算編成とした。予算編成に向けて、村長の思いと決意は。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	森山 岩光		<p>2 令和6年度予算の重点施策として、</p> <p>1. みんなの知恵と力で村づくり 2. 子育てと教育の充実</p> <p>3. 健康と福祉の村 4. 農業と村内産業と観光振興</p> <p>5. 環境と安全の村</p> <p>以上、5つの施策を掲げている。また予算編成にあたっては、第5次原村総合計画に基づき作成された実施計画を毎年度、見直しを行いながら予算編成の指針にしていると認識するが、実施計画の大きな見直しや新たな事業の創設があるのか、村の見解は。</p>	村長
			<p>3 議会から来年度予算や、今後の行政運営に対する「提言書」を村長に提出した。中には、過去に何回も一般質問、提言した事案もある。すでに内容を確認されたと承知するが現状どう捉えているのか、また村の見解は。</p>	村長
		2 防災減災対策の更なる支援充実を	<p>1 村内には一ノ瀬汐・三ヶ村汐・坪の端汐などが設置されており、農業用水・生活水の供給源になっている。現場は人里離れた八ヶ岳の麓、山奥の急斜面、難所に設置されており、落石、崩落など危険度の高いエリアが多く、加えて近年、異常気象により豪雨災害など頻発化している状況で、携わる関係者の皆さん日々の維持管理に苦慮してきている。この状況を捉え、監視カメラによる遠隔操作機能など設置し労務の軽減と、安全で効率的な管理体制を構築すべきと考えるが、村の見解は。</p>	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2	森山 岩光	3 有害鳥獣駆除の成果と課題は	1 有害鳥獣駆除については毎年、原村猟友会に銃器駆除及び罟管理を委託し駆除を実施しているが、捕獲数、農作物の被害額の進捗状況と見えてきた課題について、村の見解は。	村長
			2 罟の設置と維持管理は適正に行われ、設置場所地権者への周知と猟友会・村と、常に情報共有されているか。	村長
			3 近年、熊の出没で人間が襲われる事案が全国各地で発生している。本村に於いても他人事ではないと認識するが、対策は行っているのか。	村長
3	中村 浩平	1 村の事務においては、区民・非区民の差別があってはならない	1 執行部は任意団体である区・自治会への加入に協力していると答弁があった。具体的にどの課でどのような事務をしているのか。	村長
			2 村が公費（税金）を使って協力するということは、実質的に入区への勧奨となる。入区には経済的負担が伴い、労務も求められる。何より各ご家庭の自由意思が尊重されるべきであるが。	村長
			3 村中に移住されたご家族から、「区に加入しないと非国民扱いされる。」と相談が来ている。当然、執行部にも苦情が寄せられているはずだが、どのような対応をとっているか。	村長
			4 執行部が行っている移住促進事務がそもそもの原因を作っている。非区民が区とトラブルにならないよう、具体的な解決策を講じるべきであるが。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	中村 浩平		5 村のゴミステーションは公費を出して区に管理してもらっている。近年になって村職員が「区民でないと地区にあるゴミステーションには出せない！」とおかしな発言をしているとの情報を得た。事実か。	村長
			6 過去の一般質問の答弁でも、村のゴミステーションであることははっきりしている。区に加入していないご家庭が、住んでいる地区のステーションにゴミを出すことを禁止している条例等があるのか。	村長
			7 禁止条項がないのであれば、誤った差別的情報を是正するため、直ちに各区に通知を出し、その旨を周知すべきであるが。	村長
			8 行政事務全般において、表記を「区」とされてしまうと、非区民を排除することになる。住民登録上の表記である「地区」を使用すべきであるが。	村長
			9 村内において、区民と非区民の「友愛」が必要である。執行部はどのように考えているか。またその施策が必要であるとするが。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	中村 浩平	2 任意団体である原村観光連盟。補助金で自立化は進んだのか	1 執行部から、「連盟への補助金は、自立していくため、当初の期間交付する。」と過去から何度も聞いてきた。ところが現在でも交付を継続しているが、これまでに交付した期間（〇年から〇年の何年間）と総額は。	村長
			2 当初の説明と大幅に食い違うが、なぜ交付し続けているのか。交付によって自立化は進んだのか。二点聞く。	村長
			3 連盟には3つもの補助金を交付しているが、住民目線からいくと理解に苦しむ。他の交付団体と比較して不公平ではないか。	村長
			4 任意団体はそもそも会費等で運営するものである。旧原村観光協会と連盟の会費は、それぞれ一会員当たり、およそ幾らか。（両団体とも執行部が事務局をしているため。）	村長
			5 旧観光協会ときは、その事務員を協会が採用し雇用していた。ところが現在、連盟の事務員は、村が採用し村の職員が当たっている。違法と考えられるが認識は。	村長
			6 現在、商工観光課長が連盟の文書を決裁している。連盟の会長とどのような雇用契約を結んでいるのか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3	中村 浩平		7 このまま当団体が、住民の税金（補助金）で運営され続けて良いのか。	村長
		3 有線放送審議会は審議会になっていない。改善すべき	1 中立的な立場で有線放送の運営が適正に行われているか審議する有線放送審議会。この委員の半分を直接利害関係のある信州諏訪農協の理事が占めている。あり得ないと思うが。	村長
			2 審議委員はあくまで個人の資格で委嘱されることになる（個人に報酬が支払われる）。委員の役割、立場を十分理解させた上で審議会を開催しているか。	村長
			3 審議の中で、農協の理事としての発言が目立つ。本来、自身の所属する団体等の利害に関係する審議案件の場合には退席するのが常識である。委員の構成自体に問題があるが。	村長
			4 有線放送の運営方針に関しては、村の執行部である総務課と農協の執行部とで話し合えばよいと考える。それが適正かどうか審議するのが委員の役目である。であれば有線放送を聞く・聞かされる一般住民を審議委員とすることが最良と考えるが。	村長
			5 他にも審議を進行する会長が最初から採決に加わることは適切でない。審議の進め方次第で結論を誘導できるからである。委員の構成やその人数等を含め、条例を抜本的に見直すべきであるが。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4	百瀬 嘉徳	1 原山の開発について	1 保健休養地以外の山林で開発等の規制はどうなっているのか。	村長
			2 山林の無秩序な開発が行われているが、開発区域の指定とかができないか。	村長
			3 村の開発ビジョンなど、何かしら法的な規制が必要になると思うがどうか。	村長
			4 都市計画等を導入し、開発地の用途地（宅地等）を指定したらどうか。	村長
			5 用途地に指定が出来れば公共下水等の導入が出来ると思うが。	村長
		2 既存集落の周囲で小規模な宅地等造成について	1 既存集落では、少子高齢化で区人口が減少している。その対策として、宅地開発も必要と思うが見解は。	村長
			2 村でも下水道や道路等考慮した場所を検討すべきと思うが。	村長
			3 空き家対策もあるが、今後並行して検討すべき課題と思うが。	村長
		3 公共下水道の区域の見直しについて	1 公共下水道の区域外において、住民から下水道へ接続要望はあるか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4	百瀬 嘉徳		2 茅野市と接続出来るものは、協定を結んで接続すべきと思うが。	村長
			3 村の東側（上流側）で開発が進むと、過去にあったが、水質汚濁が起きないか心配になる。合併浄化槽の普及が進んでいるが数が増えると維持管理不足の所も出て環境悪化になると思うが見解は。	村長
			4 区域を見直す時期に来ていると思うがどうか。	村長
5	村田 俊広	1 八ヶ岳中央農業実践大学校に関して	1 直売所が縮小し、商品の値段も上がっているようだ。経営状況など村として把握していることはあるか。現在では、新聞報道でも「ちとせアグリベース（八ヶ岳農場）」と書かれている。「ちとせ」と村の協議で「ちとせ」の教育への関わりについて、聞いていることはあるか。	村長
			2 八ヶ岳農場は元々「農業振興のため」と、住民が土地を供出してできた農業実践大学校である。村の農業振興に役立つように進んでほしい。これからは、困難はあっても、安全安心の有機農業に切り替えていかねばならないというのが時代の要求と考える。実践大学校も有機農業に取り組むと言っていたし、村内でもその取り組みが始まっている。研究機関でもある農業大学校がある本村には、有利な条件があるといえる。大学校と協力し、「オーガニックビレッジ宣言」を行なう方向をめざしてほしいと考えるが、どうか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	村田 俊広	2 自然文化園の駐車場の照明について	1 夜間使用時、駐車場が暗く大変危険。足下照明を設置すべきではないか。	村長
		3 冬期の公衆トイレ閉鎖の弊害について	1 原山地域にある村のトイレ（樅の木荘前、まるやち湖脇など）は冬季閉鎖されてしまう。観光客が減り、使用頻度は減ると思うが、住民にとって必要なときがある、トイレが見つからずスリップ事故を起こしてしまった人がいる。冬期もトイレを使用可能にすることとあわせて、使用可能な公のトイレを周知することが必要ではないか。	村長
			2 樅の木荘の奥の足湯の横にトイレがあるが、昼でも鍵がかかっている使えない。用途は何か。	村長
		4 安全な村づくりに関して	1 本村には森林や曲がりくねった道が多く、見通しの悪い交差点が多い。村として調査はしているか。また改善の計画はあるか。	村長
			2 原山地域の長者池には消火栓が設置されていない。設置する必要があると考えるが、どうか。また、消火栓があっても圧力が低く役に立たなかったこともある。それぞれ使用テストはしているか。	村長
5 建築に関する本村の規制について	1 保健休養地内の建築に関する村の規制に、水脈を断ち切るような工事に関する要件はあるか。	村長		

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	村田 俊広		2 建築業者、住宅業者に対して、住宅建築の規制を守ることや、購入者へきちんと情報提供するよう指導しているか。	村長
		6 財政に関して	1 原っ子広場の廃止は財政状況の反映か。	村長
			2 国保税の引き下げ、保育料の値下げを考えているか。	村長
			3 自治体の財政状況が苦しい状況の一方で、防衛費増に国の予算が注がれている。本村として防衛費の破格の拡大について中止するよう政府に対して要望書を提出すべきではないか。	村長
		7 平和な村づくりの取組みについて	1 ガザ地区において多くの子どもたちが犠牲になるなど、悲惨な戦闘が続いており、ジェノサイドの様相を呈している。本村の住民の多くも心を痛めている。本村として戦闘の即時停止を求める外交をすすめるよう政府への意見書を出す用意はあるか。	村長 教育長
2 8月に広島へ生徒・児童を派遣することを本村として取り組んでどうか。	村長 教育長			
6	小松 志穂	1 原中学校の制服改定が必要では	1 原中の現行の制服について、時代に合ったものへ改定を望む声があるが、費用負担、機能性、性の多様性の観点からどのようにお考えか。	教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
6	小松 志穂		2 これまでの制服検討委員会の構成メンバーや開催実績、検討されてきた内容とその結果は。	教育長
			3 生徒（児童）を中心とした制服検討委員会、または生徒の意見を中心に検討を進める仕組みを設け、制服改定の検討に入ることが望ましいと考えるがどうか。	教育長
		2 景観施策のビジョンは	1 景観計画の策定は見送るとされてきたが、第6次総合計画策定にあたり、また、多くの住民から景観保全を望む声が聞かれる中、新村政では今後の景観施策をどのように考えているか。	村長
			2 景観形成基本方針では、「景観推進委員会の設置」や「ガイドラインの作成」、「景観シンポジウムの開催」、「住民ワークショップの開催」などにより、「村の景観にとって実現可能な最善の体制づくりを常に検討する」ことが明記されているが、基本方針策定から現在までの取組み概要や実績はどうか。	村長
			3 「日本で最も美しい村連合」加盟村としても、景観条例ないしはそれに準ずるようなものの制定に向けて、住民と一緒に議論を重ねていく必要があると考えるがどうか。	村長
		3 空き家対策の施策充実を	1 空き家対策の取り組みの状況は。また取り組みを進めるにあたって認識している課題は何か。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6	小松 志穂		2 空家有効活用促進補助金の令和5年度の申請状況はどうか。	村長
			3 空き家提供側が活用できるような、片づけ費用への補助、解体費用補助、契約成立時の報奨金など、補助金のレパトリーを増やすことも有効と考えるがどうか。	村長
			4 各地区またはエリアに集落支援員制度を活用した空き家コーディネーターを配置し、田舎暮らし案内人と連携して空き家対策の促進に努めてみてはどうか。	村長
		4 保育士定着のための積極的な取り組みを	1 近年の保育士の自己都合による離職者数は（定年退職を除く）。また、保育士確保が全国的に厳しい状況の中、保育士定着のための取り組みが重要視されているが、村での取り組みはどうか。	教育長
			2 保育士定着率の向上と保育の質向上のために保育士が働きやすい環境整備は不可欠である。保育士の現状把握のための調査や、360°評価制度の導入、ICT活用、ノンコンタクトタイムの導入などを検討しては。	教育長
7	平出 敏廣	1 移動村長室について	1 開催希望が多いと聞いた。希望に添えていない状況はないか。	村長
			2 要望事項内容等はどう対処し進めるのか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	平出 敏廣		3 移動村長室は現在の時間割で今後も行うのか。	村長
			4 午後7時頃からの開催を望む声があるが対応は。	村長
		2 村敬老祝事業補助金交付について	1 村敬老祝事業補助金交付の申請した地区は何地区何人か。	村長
			2 申請地区が少なかった要因は。	村長
			3 地区の実情に沿っていなかったのではないか。	村長
			4 この事業は令和7年度までとしているがその後は廃止するのか。	村長
			5 今まで村主催で行ってきたことの1事業ではある。縮小、廃止をするならば区・自治会の負担増になることは止めるべきと考える。	村長
		3 今後の姉妹都市構想は	1 今後、姉妹都市を増やす計画、構想はどの様に考えるか。	村長
			2 来年提携を結んで50年になる旧戸田村(現沼津市戸田地区)との関係をどう考えるか。	村長
			3 千葉県一宮町との姉妹都市協定は、進めるべきと考えるが。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	平出 敏廣	<p>4 医療費適正化計画目標達成はどうか。 (国が告示で示したもの) (H30~R5)</p>	<p>(住民の健康保持の推進に関し、達成すべき目標に関する事項(第8条第4項第1号、第9条第3項第1号))について</p> <p>1 特定健康診査の実施率(21年度対象者1654名受診者649名実施率39.2%)であったが低いのではないか、見解は。</p>	村長
			<p>2 特定保険指導の実施率(21年度対象者85名指導終了者45名実施率52.9%)指導終了に至らない要因は何か。</p>	村長
			<p>3 メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率は。</p>	村長
			<p>4 たばこ対策・予防接種・生活習慣病等の重症化予防の推進・その他予防・健康づくりの推進等についての進捗は。</p>	村長
		<p>5 国民健康保険の保険者努力支援制度の周知を図るべきでは</p>	<p>1 この制度は平成27年度保険者(都道府県・市町村)における医療費適正化に向けた取り組み等に対する支援を行うため、保険者の取り組み状況に応じて交付金を交付する制度であり、平成30年・令和2年度の改正により予防・健康づくり事業の事業費と連動して配分する部分と合わせ交付することにより、保険者における予防・健康づくりの取り組みを抜本的に後押しするとしている。本村においてこの金額はどの位になるのか。</p>	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	平出 敏廣		2 質問事項4であげた内容を住民に協力依頼すると共にこの支援制度が持つ役割等周知を図るべきでは。その事が進むことにより支援制度の配分率が上がり国保保険料の値上げを少しでも抑止出来るのではないかと考えるが。また、医療費の抑制にも繋がると考えるが。	村長
8	宮坂 早苗	1 デジタル化社会の実現に向けた、データの活用と連携が、今後加速する。収集したデータが、どのように住民の生活につながっていくのか、業務の見直しや住民への理解につなげる機会、デジタル化社会の研修機会などの確保を考えては	<p>1 先日、茅野市でスーパーシテイ構想、デジタル田園特区フォーラムが開催された。その中で、「今後、デジタル化社会に向けた医療データの活用が重要となる。」という内容があった。特区指定の自治体では、病院や診療所が保有する電子カルテ情報の共有、PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）などの個人医療データを活用し、適切な医療サービスを受けられるようにするということである。諏訪中央病院は、本村、茅野市、諏訪市の組合立病院であるが、村診療所の電子カルテの共有、個人のPHR登録の準備、活用なども考え、情報共有し、進めるべきでは。</p> <p>2 今後、医療技術の進化とともに現場が大きく変わってくることが考えられる。村の医療機関の現状も診療所ができた頃とは大きく変わっている。医師の勉強機会の確保や、設備、経営体制は、現状で良いと考えているか。</p> <p>3 データの活用については住民個人の同意が必要となってくる。データを活用することが、住民の暮らしにどのように影響してくるのか理解を深める機会や研修を行う必要があるのでは。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p>

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8	宮坂 早苗	2 公共施設に新たな指定管理制度の導入を進めては	1 公共施設の新たな指定管理体制について、現在、社会体育館などは、スポーツと健康のための重要な施設となっている。現在も、シルバー人材センターによる管理が主となっている中、民間のノウハウを生かした指定管理施設として考えることもできるのでは。	村長
		3 中央道 PA と連携し、観光資源強化と移住定住促進を進める考えは	1 中央道 PA の連携と周辺の観光資源阿久遺跡との連携と活用を考えては。	村長
		4 観光マップに、給水できる施設や、使用できるトイレの表示を考えては	1 村内の農業現場で働く環境、自転車などでの移動に必要な、環境整備のため、トイレ確保は重要な要素となる。トイレや給水スポットを、観光マップなどへの表示することを考えては。	村長
9	佐宗 利江	1 村内の経済循環率について	1 低さが指摘されていたがその後、何らかの改善策は取られたか。	村長
			2 PPP、PFI という手法についてどう考えるか。	村長
			3 今後について村の考えは。	村長
		2 下水道の整備について	1 下水道未整備地区への整備の考えは。	村長
			2 農業集落排水等の導入は。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9	佐宗 利江	3 都市計画について	3 切実な住民要望に対して村の考えは。	村長
			1 令和4年12月の一般質問後の進展はあるか。	村長
			2 保健休養地への人口の集中についてどう考えるか。	村長
			3 空き家対策について。	村長
			4 宅地開発の考えはあるか。	村長
			5 村の将来をどう考えるか。	村長
10	半田 裕	1 大規模災害に備えた減災対策・防災教育を	1 今年度村で実施された総合防災訓練は職員を対象とした内容だった。住民の防災訓練も重要と考えるがどのように考えるか。(各地区や自主防災組織とどのような連携を図っていくのか。)	村長
			2 避難所の運営は避難者自らが行う事とされているがその共通認識を住民と図れているか。実際どのように運営すれば良いかについて避難所運営マニュアルを作成する必要があるのでは。	村長
			3 各地区での防災活動の担い手となる防災士の育成は重要と考える。現在の育成状況と今後の活用についての考えは。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
10	半田 裕		4 災害時の対応として、高齢者・障がい者支援のための福祉避難所と同様に子ども・子育て支援の拠点整備は重要な事項と考える。災害時の子ども子育て支援をどのように行なっていくか事前の検討が必要と考えるが。(子ども子育て支援センターはらっぱの活用が望ましいのでは)	教育長 村長
			5 村では住民等と連携して防災教育を推進することとされているが、どのような防災教育が行われているか。	村長
			6 子どもたちへの防災教育はどのようなものが行われているか。また、災害時に子どもたちは被災者でもあるが、救助者にもなり得る中学生への救急法の研修も行なってはどうか。	教育長
			7 防災教育として災害時応援協定を結んでいる南三陸町の方から住民を対象に実体験を踏まえてお話を聞く機会も設けては。	村長
			8 HP や広報誌等で定期的に村からの防災教育となる情報を発信する必要があると考えるが。	村長
			9 災害時に職員の初動が重要かと考えるが、その周知はどのようになされているか。各々がどう動くべきかすぐにわかる災害時職員初動カード等の作成をしては。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
10	半田 裕	2 安定した事業実施のために、歳入の確保を	1 村の基金運用の状況は。これまでの実績や定期預金・債券の運用比率はどのようになっているか。	村長
			2 確実かつ有利な方法で保管する必要がある中で、適正な運用を行う必要があると考えるが、有利な方法となる債権への運用をもう少し積極的に活用してはどうかと考えるが。	村長
			3 適切な資金運用のためには、資金調達を行う住民財務課と資金管理を行う会計室の連携が必要と考える。中長期的にどのような予算が必要になるか等合同で検討をし、運用を考える場が必要と考えるがどうか。	村長
			4 誰もが共通の状況で運用できるよう資金運用の規定を定めてはどうか。	村長
			5 有効な運用、資金調達を行うために研修も必要と考えるが、外部組織のアドバイス等活用しては。	村長
			6 ふるさと納税の寄付額を増やすためにどのような取り組みを行っているか。(協力隊の今後の活動予定も含めて)	村長
			7 来村した方が納税できる仕組みを検討してはどうか(宿泊観光クーポンの発行・自動販売機の設置など)	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
10	半田 裕		8 寄付者への説明と、今後の寄付にも繋がられるよう、寄付金の活用先の一つである地域づくり支援事業補助金の報告を村 HP およびふるさと納税のサイトにてPRすべきでは。	村長